

すので、その辺なんかも、農林課と、あと地場産センターとか一体でいろいろ検討してまいりたいと思います。

○町田義昭委員長 10番、高橋孝夫委員。

○10番 高橋孝夫委員 ありがとうございます。以上で終わります。

○町田義昭委員長 以上で通告による総括質疑は終わりました。

ここで昼食のため暫時休憩いたします。再開は午後1時といたします。

午後 0時02分 休憩

午後 1時00分 再開

○町田義昭委員長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

これより各会計予算の細部審査に入ります。

なお、質疑に当たっては、答弁者並びにページ数をお示しの上、お願いいたします。

議案第1号 平成21年度長井市一般会計予算についての質疑

○町田義昭委員長 それでは、議案第1号 平成21年度長井市一般会計予算の1件について、歳入より順次質疑を行います。

まず、1款市税から12款使用料及び手数料について質疑を行います。一般会計予算事項別明細書では、11ページから19ページまでであります。ご質疑ございませんか。

8番、安部 隆委員。

○8番 安部 隆委員 17ページですけども、観光使用料について二、三お聞きしたいというふうに思います。

新年度予算におきましては、このあやめ公園入園料1,525万9,000円というふうなことで上げられているようであります。昨年、20年度におきましては当初1,983万2,000円というふうなことで、今議会の開会翌日に668万1,000円が20年度では減額されました。実質的には1,332万7,000円というふうなことでございますけども、こうした20年度のこの入場人数ですか、入場者というものを加味しながら吟味してこうした予算を示したというふうなことだと思いますけども、そこに行く過程について若干どのような、この20年度、19年度等々を含め反省をし21年度に生かしたのかお聞きをしたいと思います。商工観光課長にお尋ねします。

○町田義昭委員長 齋藤理喜夫商工観光課長。

○齋藤理喜夫商工観光課長 お答えいたします。

20年度の予算につきましては、委員ご指摘のとおりでございます。21年度の予算につきましては、20年度の実績を基本的にベースといたしまして、固めの数字を設定をしたというふうな状況でございます。現在の景気状況等を勘案しまして、伸び率を低目に設定をしたというふうな状況でございます。

○町田義昭委員長 8番、安部 隆委員。

○8番 安部 隆委員 固めの中でこういう提示をしたというふうなことですけども、この資料ですと、16年度から20年度の入園料というふうなことで16年度は1,800万円、17年度は1,400万円、18年度は1,300万円、19年度がこのあやめ公園入園料だけだと1,500万円、あやめ会館使用料を含めると1,700万円というふうなことであつたわけです。そして20年度もそうした吟味をしながらやりましたけども、なかなか入園料が上がらないというふうなことで、この1,300万円の実績というふうなことになったと思いますけども、そういう中で、今回21年度はそれに固くというふうなことですけども、20%程度上乗せをしたと、これが本当にできるのか

などというような思いと、今回の議会でも市長も述べていますように、観光事業に対してもこういう景気の低迷の中では新たな長井市の歳入確保の一つの事業であるというふうに私は思っているんですね。やはりこうした数字というものは、そうした今、商工観光課長が言ったようにいろいろな根拠のもとで出してくれているわけですから、これをしっかりと上げていくといいですか、達成をしていくと。市長はこれは観光協会の方にはしろと、お願いだというような名目で観光事業をお願いしてるといような経過もあると思いますけども、やはり入園料を取って観光型の公園を維持していくというようなことについてはそれ相応の担当職員の責任といえますか、ノルマといえますか、そういった意識もちゃんと植えていかなければこれはなかなか難しい問題じゃないかなというふうに思うんですけども、その辺は市長にお聞きしたいと思います。そして、市長は施政方針でも「市職員全員が今までの反省を踏まえ変わる年にしなければならぬ」と、「愛が足りない」というようなことで申されていますけども、その辺もくみしますと、やはりきちとしたこの数値目標というものを達成する、させるということになっていくのではないかなというふうに思いますが、いかがでしょうか。

○町田義昭委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 安部委員ご指摘のとおり、やはり職員一丸となって目標達成のための行程表といたしますか、そういったものをつくってやっていかなきゃいけないというふうに思っていますが、やはり安部委員からありましたように、運営の方は観光協会に委託しておりまして、観光協会でも一生懸命取り組んでいただいておりますけども、もう少し意思疎通を図りながら、昨年あたりはどうしても従来から比べるとあやめ公園の中の催し物が非常に少なくなってきたんじゃないかなと、あと入園者も夕方になります

と、夜は8時まで入園料いただいているはずなんですが、むしろ「夜行くと危ない」というようなうわさが立つぐらい閑散とした状況でありましたので、そういった反省も踏まえて21年度当たりたいたいというふうに思います。ありがとうございます。

○町田義昭委員長 8番、安部 隆委員。

○8番 安部 隆委員 やはり、市長、21年度はあやめ公園高台の整備も含まれますので、やはり今答弁されましたことはきちっと強く指導していただきたいなというふうに思います。やはりこういう不況の時代で我々には相当な市民の目が注がれてると思うんですね。特に公務員の方というのはすごい目が向けられてると思うんですよ、市長。それで、これは直接関係ないですけども、九州・鹿児島県の阿久根市というところの市長さんは、これ泥仕合してまますけども、1番から268人職員いますね。これは人口規模2万4,000の市ですけども、こういう情報が出てくるわけですね。ということは、民間と比べてすごいなど、こういうような観点に立っていくと、やはり市長が方針で示したように、市民のために愛を持ってやっていくなんていうものじゃなくて、もっと積極的にやっていただかないとこれは達成できないんじゃないかなと、そのくらい緊迫というか気持ちを入れかえてやっていただきたいと、3回目ですからそれを申し上げまして、ひとつよろしくお願いします。

○町田義昭委員長 ほかにご質疑ございませんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭委員長 ほかに質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、13款国庫支出金から20款市債について質疑を行います。19ページから31ページまであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、歳出の審査に入ります。

まず、1款議会費、2款総務費について質疑を行います。32ページから63ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、3款民生費、4款衛生費について質疑を行います。49ページから63ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、5款労働費、6款農林水産業費について質疑を行います。63ページから72ページまでであります。ご質疑ございませんか。

17番、蒲生吉夫委員。

○17番 蒲生吉夫委員 商工観光課長にお尋ねいたします。

73ページに地場産業振興センター支援事業ということで1億1,359万5,000円というような合計書いてありますが、年々上がってるんですよ、ここの部分というのは。それで、どこがどういうふうに上がっているのかなと思って、産建の協議会のときに出された、この予算を組むときの資料の中にこんなふうに書いてあるんですね。「20年度においては最終的な運営費補助金額は約3,700万円であったが、21年度は共同アウトソーシングによりe-センター借室料が減額になるため増額となるものです」と。どう考えてもここの理屈は合わないような気がするんですけども、共同アウトソーシング化することによって部屋代が入らなくなるという理屈でしょう。それが運営費補助とどういうふうに結びつくんだろうかなと。ほかに貸してる部屋がもっと減ればまたここ上がっていくと、こういう理屈になるんでしょうかね。この説明が正しいかどうか、まずお聞かせください。

○町田義昭委員長 齋藤理喜夫商工観光課長。

○齋藤理喜夫商工観光課長 7款の商工振興費の地場産業振興センターの部分のご質問でございますが、20年度におきまして、最終的な運営費補助金が3,700万円程度というふうなことでございます。それは12月で派遣職員分、それから原油等の値上がり分を増額をさせていただいたものでございます。21年度には市役所の電算業務を行っていただいておりますe-センターの方からの借室料が見込めないというふうなことで280万円程度でございます。そちらの方が収入が見込めないというふうなことで、前年度に比べまして増額をさせていただきたいというふうなことでございます。これをもう少し説明をさせていただきますと、前年度当初では借室料と合わせまして3,200万円の運営費補助というふうなことで考えてございました。それに加えて、派遣職員の増分、それからe-センター借室料の収入減、そういったふうなもの、それからもう一つはボイラーの修繕等もやらなければいけないというふうな状況がございまして、21年度につきましてはこの金額を計上させていただいたところでございます。

○町田義昭委員長 17番、蒲生吉夫委員。

○17番 蒲生吉夫委員 そこは、だからこれに書いてあるからわかるんです。けども、その借室料分が減るから運営費補助を上げるという理屈がそこに成り立つのかどうかという質問を私はしてるんで、前年度でいうと、今説明あったように、職員派遣の分というのは、それだって余り納得のいくような話じゃないような気がしますね。今、2人ですね。2人派遣されてるんですね。なぜ1人増員したのかなんていうのは、前に多分、産建委員会あたりで聞かれたのかもしれないけども、ふやした分、金をつけて派遣していく、借室料が減った分、運営費で補助していくという、こういうやり方というのは、私はやり方として正しいんだろうかなと

思うんですね。多分このトータルの金額はここ数年の中では一番高いぐらいになってるんじゃないでしょうかね、わかりませんが、その経過については、業界負担分をなきゃいけなくなったりなんかしてるんで、全体的に上がってきてるのわかります。しかし、こういう主に部屋を貸してる料金で運営費なんかを賄っていくというのがありますね。もちろんあると思います。しかし、そこがあくから運営費補助金をその分、余計にやるんだという理屈というのは直接的に結びつくところは私ほどこもないんじゃないかというふうに思うんですね。あいたらそこを貸す努力をするのが当たり前だと思うんですね。そういう予定も何もないんですか。最初からあいたらあきつ放しでそこはもう貸し室としては使わない部屋と、普通は地場産業振興センターは事務所として常設しておいてはだめだというふうに基本的にはなってるんですよ。けども、そこは産業振興のためとか何かという作文を多分してるんでしょう。それで貸してるんだと思いますね。だから、その貸し室料が入らなくなるからという、運営費補助を上げるという、ここに直接的に結びついていく根拠は何でしょうかというふうに質問してるんで。

○町田義昭委員長 齋藤理喜夫商工観光課長。

○齋藤理喜夫商工観光課長 資料の文章としてはそういったような形で表現をしてしまいましたんですが、予算の私どもの方と地場産業振興センターの方との詰め方の段階で他の施設の利用が20年度減っているというようなどころまでの話は受けました。それからe-センターも見込めないというふうなことでの話は伺いました。他の部屋の使用料については、とにかく努力をして改善してほしいというふうなことで、e-センターの分についてはいたし方がない状況があるだろうというふうなことで、積算としてはe-センター分について増額をさせていただくというふうなことにさせていただいたところで

ございます。ただし、地場産センターの方ではその部屋、あく部屋につきましての営業を行っているというふうな状況ではございます。ただ、簡単にお客様がつかない状況にあるというふうなことでございます。

○町田義昭委員長 8番、安部 隆委員。

○8番 安部 隆委員 74ページ、商工観光課長にお伺いします。

観光事業費2,600万円というふうなことで示されておりますけども、このたびの施政方針にもありますが、この兼続人気にあやかる中で長井市の観光事業にはどの程度その影響といたしますか、環境事業に及ぼす影響を分析されておられるのかお答えを賜りたいと思います。

○町田義昭委員長 齋藤理喜夫商工観光課長。

○齋藤理喜夫商工観光課長 お答えいたします。

特に期待をしてございますのは、「長谷堂合戦への道」ということで、米沢から總宮神社を経由して山形まで行くというびゅうばすが商品として設定をしていただいております。特に期待をしたいのは、このびゅうばすを活用した長井へのお立ち寄りというふうなことを特に期待をしてございます。それから兼続という部分だけの魅力あるいは吸引力というのは今現在、總宮神社の直江杉、それから刀剣、それから庄内道路という、この部分でございまして。これだけでなかなかお客様に来てもらうということはかなりづらい状況でございまして、米沢、それから山形までのルートの中で長井にお立ち寄りをいただくというふうな形で設定をしていただいたというのは大変にありがたいなというふうに思っております。そのほかでございまして、4月から6月までの花回廊キャンペーンの中で特に總宮神社を活用してあやめ公園と總宮神社のルートにつきまして旅行会社さんの方にもご理解をいただいておりますので、まちなかへの展開がふえてくるのではないかというふうなことで期待をしてございます。ただし、その人数

+

等につきましては数値的なものを持っていない状況でございます。

○町田義昭委員長 8番、安部 隆委員。

○8番 安部 隆委員 今お答えいただきましたけども、やはり今までにない効果というものもあるのかなというふうに思ったところでございます。總宮神社と周辺、あとはその朝日軍道というようなことで、余り長井市にはそうしたものは無いというようなところでございますけども、この兼続人気とともにもう少し前から観光展開ができなかったのかなと思うんですよ、市長。市長も私も豊田ですけども、歌丸の環濠集落、これはすばらしい補助事業で一応半分程度わかりませんが、整備したんですね。これは中世伊達時代というのがありますけども、もうちょっと兼続より古い時代ですけども、兼続時代にも営々とあった地域でありますので、こうした名所的なところも今回のこうした観光の一つというようなことで長井市としてもPRしたらいいんじゃないかなと、それでこれも補助事業で整備をされたというような経過もありますので、本当にこの説明を見ますと中世の1500年あたりのこの地形といいますか、道路の幅とかそういうところは変わらないものがずっと残っておったというようなことで、本当に貴重な長井市の財産じゃないかなというふうに思いますけども、その辺のことも、まだ遅くないと思うんですね。まだまだ1年ありますから、そういったところ何か掘り起こしてこういったところに結びつけられないものかなというふうに思いますけども、いかがでしょうか、市長にお聞きします。

○町田義昭委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 安部委員がおっしゃいますように、貴重な史跡だとは思いますが、現段階で私が思いますに、観光客を呼べるような部分はかなり整備しないと難しいと思います。むしろ直江兼続絡みで呼ぶとしたら、下伊佐沢にあ

る、これは普通の市民の方のおうちでありますけども、堀があるいわゆる環濠、昔の土豪の館、館といいますか、ですけど、そちらの方が多分かわりが強いんじゃないかと。あそこの先祖の方が史跡によりますと最上合戦の方に従軍してると、しかもあの地域からかなりの方が従軍したというふうなこともありますので、多分生かすんだったらそちらの方がすぐ、堀もありますし、残念ながら歌丸の場合は説明かなり聞かないと全体像がわからない、しかも一望してすぐわかるような状況じゃありませんので、やっぱりこれからのために地主さんともお話しできて合意できたら整備することも必要なかなというふうに思いますが、そのように思っております。

○町田義昭委員長 8番、安部 隆委員。

○8番 安部 隆委員 確かに市長言うとおおり、これは一長一短にできるもんじゃないですけども、そういうムードでなくて、もう少しこういうものがあるんだと、利用するんだと、こういった機会に何か結びつけようと、本当に今、厳しい時代ですから、何か取っかかりがあれば、大阪商人など取っかかりがあればやるわけですから、そういうようなスタンスを持ってやっていかないと、これは人気の前、人気中、後とこう分けても、兼続人気は、このドラマがあるというのは一昨年から、その前からあったのかな、そういうような経過があるわけですから、やはり長井市でもそうしたものがあるとなればそういったものをうまく結びつけていくような体制というのもあっていいんじゃないかなと、あきらめ的なものじゃなくて、やはりせっかく本当に環濠集落なんていうのも、そこも環濠でしょうけども史跡なんていうのは明治8年から変わってない、中世から変わってないというようなことで、今言いましたように、補助事業で整備されたというような経過でやっぱりあの中のものを見るというようなことでは大変問題があ

ると思いますけども、そういったそうだと
いうようなことでなくて、もう少しやはり
新たな観光事業を展開していくというよ
うなときにはやはり市内のいろんなそ
ういう旧跡、そういったものをうまく
結びつけていくというどん欲な気持
ちを持っていただきたいというふう
に思うんですけども、そういうよ
うなことを申し上げまして終わ
りたいと思います。

○町田義昭委員長 ほかにご質疑ござ
いせんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭委員長 ほかに質疑もな
いので、質疑を終結いたします。

次に、一部質疑に入っております
けども、7款商工費、8款土木費
について質疑を行います。72
ページから84ページまでです。
ご質疑ございせんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭委員長 質疑もな
いので、質疑を終結いたします。

次に、9款消防費から13款予備
費について質疑を行います。84
ページから103ページまで
です。ご質疑ございせんか。

17番、蒲生吉夫委員。

○17番 蒲生吉夫委員 今度は
ページが合っているよう
でありますので。94ページ、
少年議会事業委託料。かなり充
実してきたというふう
に私も傍聴して思
いました。思
いましたが、あ
んまり当局の方
が準備し過ぎた
なともう一方
で思いました。
発言の方はと
ても立派で一糸
乱れぬ発言を
していたよう
に思いますし、
ただやっぱり
あんまり準備
し過ぎて、傍
聴席ほとんど
いばいだっ
たわけです
けれども、そ
ういう違和感
も逆に覚えた
んでないかな
というふう
に私は思
いました。も
ともと模擬議
会ですから、
発言あった
ことを何か実
施しなければ
ならないなん
ていうことも
私も考えない
ですし、必要
なのはやは
り今の日本の
議会制民主
主義は三権
分立という
中の議会の
役割という
のは何なんだ
という

ことが、学校で習うんですよ、中学校
のときね。だけど、三権分立という
言葉は習うけれども、議会はど
ういう役割を果たすのかという
部分が実際やっぱりやってみ
ないとわからないというのか、
我々も議員になったとき
そうですけども、必要な
のはやっぱり自分の提案
したいことを提案する
という部分はこの前行
われたものだと思います。
しかし、議会はいいも
悪いも含めて議決を
するという場面がない
と、議会というのは
提案するだけで
終わるのかな
という感じにと
られても困る
わけですし、
そういうや
っぱりルール
みたい
なところに
基づいた
ものにして
いく必要
があるん
じゃないか
なという
ふう
に思
うん
です
ね。大
変子供
らにと
っては
勉強
になる
もの
です
し、傍
聴に
来
て
い
た
人
た
ち
も
勉
強
に
な
っ
た
ん
だ
と
思
い
ま
す。
そ
の
勉
強
と
い
う
も
の
を
や
っ
ぱ
り
回
数
重
ね
て
る
わ
け
で
す
か
ら、
も
う
一
歩
進
め
た
形
で、
議
決
を
す
る
と
い
う
場
面
が
あ
っ
た
方
が
ず
っ
と
少
年
議
会
と
し
て
は
生
き
て
き
そ
う
だ
な
と
い
う
ふ
う
に
思
い
ま
し
た。
当
局
提
案
も
1
件
あ
っ
て、
そ
れ
に
対
し
て
賛
成、
反
対
の
意
見
を
言
っ
て
議
決
を
す
る
場
面
と
い
う
の
が、
そ
こ
が
議
会
制
民
主
主
義
の
一
番
い
い
と
こ
ろ
だ
と
私
は
思
っ
て
お
り
ま
す
の
で、
来
年
度
の
予
算
も
わ
ず
か
ば
か
り
で
す
け
ど
も、
も
う
少
し
や
っ
ぱ
り
子
供
ら
が
自
由
に
発
言
で
き
る
よ
う
な
体
制
と
今
言
っ
た
よ
う
な
と
こ
ろ
の
配
慮
を
願
え
た
ら
う
れ
い
し
い
な
と、
こ
う
い
う
ふ
う
に
思
い
ま
す
け
ど
も、
ご
見
解
を
お
伺
い
し
た
い
と
思
い
ま
す。

○町田義昭委員長 どなたに
でしょうか。

○17番 蒲生吉夫委員 文化
生涯学習課長。

○町田義昭委員長 那須宗一
文化生涯学習課長。

○那須宗一文化生涯学習課長
お答え申し上げます。

まず、少年議会の考え方として、
最初に始まったころは、少年
議員の皆さんのご意見をお聞
きして、それを市政に反映して
いこうというふうなことが1
つ大きな趣旨としてあった
というふうに思います。もう
一つ、今、蒲生委員がお

っしやったように、議会というのは1つの提案に対して賛否を明らかにしていくというのも確かに議会の役割でもあるわけでございます。これまで少年議員からいろんなご意見をお聞きして、それを市政に反映していくという部分については相当少年議員の皆さんも一つわかってこられたし、運営についても、今、蒲生委員からお褒めいただいたわけですが、そういった面では非常によい形にできてきたのかなというふうに思っております。

それをもう一步進めて議決といいますか、そういうものまで含めてはどうかというご意見でございますが、たしか白鷹町だったかと思いますが、私、新聞で見たんですが、その中で採決をしていたというふうな事例もあったように記憶しております。どのような内容のものを採決してもらうのかとか、どういう部分まで含めて、また新しい少年議員をお願いするわけですので、そういった部分を含めて提案申し上げて、少年議員の皆さんにお話し合いをしていただきながらできるだけ本来の議会の姿に持っていければと考えておりますので、ご指導賜ればというふうに思います。

○町田義昭委員長 17番、蒲生吉夫委員。

○17番 蒲生吉夫委員 どのような議案をというふうに今、文化生涯学習課長言われたんですが、ことしみたいな状況ですと、定額給付金みたいなのは大変いい議案になるんでないかなというふうに思いますね。賛否の分かれるところですから、1人ぐらいずつ討論いただいて、例えばなぜ世帯主に一括して渡すんだと、これをやったら私たちに来ないじゃないかとかいうことを言う人もいるだろうし、または小学生は世帯主に渡していいけれども中学生、高校生ぐらいは自分が使いたいところに使えるように直接渡せだとか、意見いろいろ、無謀とも思えるようなことを平気で言っているというのが私は模擬議会だと思いますので、やっぱり自分

の頭で考えたものを発言していくという、そういう訓練は多分中学生も高校生もされていると思います、生徒会などで活発に発言してやるのでありますので。そういうやっぱりシナリオどおりで進めていくのは当局としては安全圏なのかもしれませんけれども、やっぱり自分らの頭で考えたものを直接発言していくという、この辺の大切なところを大事にしていくべきじゃないのかなというふうに思いますので、もう一度その辺についてお聞かせいただけたらありがたいなと思います。

○町田義昭委員長 那須宗一文化生涯学習課長。

○那須宗一文化生涯学習課長 貴重なご意見ありがとうございます。ただいまいいただきましたご意見も含めまして、新しい少年議員の皆さんといろいろ話し合いをしたり、あと各学校の先生方のご意見なども拝聴して、その上で方向性を定めてまいりたいと思います。今いただきました意見については、反映できるような形で進めていければなというふうに思っております。よろしく願いいたします。

○町田義昭委員長 ほかにご質疑ございませんか。
6番、蒲生光男委員。

○6番 蒲生光男委員 100ページの保健体育費、東北高校駅伝大会開催事業について教育長にお尋ねします。

これは隔年、長井市で開催するというふうに承ってるわけですが、大船渡市と長井市が交互にずっとやっていくということの理解でよろしいかと思うんですが、何年までこれ確約されるものですか。

○町田義昭委員長 大滝昌利教育長。

○大滝昌利教育長 大船渡市と隔年ごとというのは、それは恐らくそのとおりだと思います。23年度までということで話し合い、高体連の方の陸上専門部の方では話になってると。

○町田義昭委員長 6番、蒲生光男委員。

○6番 蒲生光男委員 ということは、ことし21

年ですよ。21年と次の次の23年、2回しか決まってない。じゃあ、その後についてはまだわからないということなんですかね。それはもう一遍新たにどこでどう開催するかというのは協議をして決めるということによろしいのでしょうか。

それと、男子が今度、記念大会になりますよね。45回ですか、たしか。それで、出場する高校の数もふえると思います。1チーム何人の割合になるかわかりませんが、大会日の1週間前ぐらいから宿泊をしてトレーニングをするという様子がうかがえると思いますので、やっぱりこれの受け入れ体制であるとか、あるいはまた経済的な波及効果なども期待できるわけですから、やっぱり広く市民の皆さんに理解をしてもらって協力をしていただくという体制をとっていくべきでないのかなと思いますけれども、商工観光じゃない、文化生涯学習課長、どうしてもきのうから商工観光に言ってるものですから、文化生涯学習課長。

○町田義昭委員長 那須宗一文化生涯学習課長。

○那須宗一文化生涯学習課長 それでは、お答え申し上げます。

第1点目の23年以降の開催でございますが、私が聞いている範囲では、平成23年度の開催までについては内々定の状態ですが、それ以降については改めて当然東北の高体連の陸上競技専門部なり山形県の高体連の陸上競技専門部、あとそれぞれ陸上競技協会に諮って決まることでございますので、ずっとその後までというのはまだ確定はしてないというふうなことでございます。

2点目のどうやって受け入れ体制を整えていくかということでございますが、まず市内、市役所内の関係各課で市内の準備委員会を、第1回目の準備委員会は開催いたしました。4月以降その準備委員会を実行委員会的な形にしながら、最終的には実施本部という形で市内一丸と

なって受け入れ体制を庁内的にはつくっていくと。そのほかに市内の各関係の団体で構成する実行委員会を設置いたしまして、どのような形で受け入れることができるかということについて皆さんでご意見をいただいて、より歓迎ムードが演出できるような形でこの大会を盛り上げていきたいというふうなことを考えているところでございます。

○町田義昭委員長 6番、蒲生光男委員。

○6番 蒲生光男委員 前回の大会の開催の反省から思ったんですが、コースになる沿道ですね、道路と歩道の境の縁石があるんですが、そこにヨシが立ってたり草が生えてたり、非常に美観を損ねるようなことがありました。そういったこともコース上の地域の皆さんのご協力をいただいてきれいにするとか、そういう参画の仕方もあるのではないかなと思うんですね、お金をかけなくても。おのずと応援もしてくださると思うんですよ。そうやって市民の皆さんの気持ちを高揚できるような啓蒙の仕方というのをぜひ考えていただきたい。協力したい人はいっぱいいると思いますから、ついでにPRについてもぜひお願いをしたいというふうに思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○町田義昭委員長 那須宗一文化生涯学習課長。

○那須宗一文化生涯学習課長 大変貴重なご意見ありがとうございます。前回の反省点が幾つかございましたけれども、その中で、例えばコースになる道路の工事がちょうど入っていたというようなこともございました。大変県当局の担当の方のご厚意で道路をきれいにしてもらったとか工事を一時中断して競技に支障ないような状態にさせていただいたりというようなことを配慮いただきました。そういったことを踏まえ課まして、今回は建設関係なりそういった道路管理者なりの方々にもその実行委員会にお入りいただいて、事前に工事の計画などをその期間を外していただくというような配慮もしていた

+

だくようにということだとか、ただいま蒲生委員からあったように、道路のわきの草を除草などについて例えば地区長会さんなりのご協力をいただきながらとか、そういった形でできるような受け入れ体制を大いにしていきたいと思いますというふうに考えておるところでございます。

○町田義昭委員長 ほかにご質問ございませんか。
14番、小関勝助委員。

○14番 小関勝助委員 95ページ、図書館長にお伺いします。

図書館、4月から指定管理者になるわけで、ここで指定管理が2,663万円ですか、これ予算計上なってるわけですけども、過日の新聞で非常に図書館の利用者、入館者がふえてるというような記事を見ました。大変頑張ってるなと思うんですが、現在の図書館の運営、いろんなご苦労もあってそういうこともあるのかなと、ただその記事は違ったような見方をしてるようなことだったんですが、その辺についての館長としてのお考えがありましたらお聞かせください。

○町田義昭委員長 宇津木正紀図書館長。

○宇津木正紀図書館長 小関委員のご質問に答えたいと思います。

本日、山形新聞の方に、図書館の利用がふえてるということで、カラーで大きく出していただいて、本当に図書館としてはPRになってありがたいなというふうに感じております。新聞報道ではやはり経済不況の関係で自分のスキルアップとか、あと自分を高める、教養を高めるとかというふうな時勢に合ったようなことを書いていただいたんですが、私はさらに記者の方には「職員の頑張りもあった」というふうには説明は申し上げたんですが、なかなか記事になりにくい内容だったかなというふうに感じております。実際、カウンターの方に常時2名配置しまして、お客様の要望にいつでもこたえられるようにしてる体制とか、あと特設コーナーをかなり充実させたりして非常に図書館が明るく

なったという評判もいただけてますし、アンケートを一昨年しましたが、アンケート調査でも大変好評になってるということもありまして、その影響もあってお客様、利用者の方がすごくふえてるというふうにとらえているところでございます。

○町田義昭委員長 14番、小関勝助委員。

○14番 小関勝助委員 ぜひそういうようなことで利用者がふえるような手だてをお願いしたいなど。

もう1点お聞きしたいんですが、ここに図書購入費350万円、これがあるわけですけども、この辺の図書購入する場合のやり方ですか、実際にやる場合の方法といいますか、その辺はどのようなことでやってるのか、かなりいろんな希望があると聞いているんですが、その辺、予算350万円で足りないのか多いのか、きょう藤原委員も、いらっしゃいませませんが、藤原さんは非常に関心を持っておられます。その辺もし館長としてのお考えがあったら教えてください。

○町田義昭委員長 宇津木正紀図書館長。

○宇津木正紀図書館長 小関委員のご質問にお答えしたいと思います。

まず、1点目のことですが、350万円ということ、昨年よりも約80万円ほどふやしていただけてます。

それで、今の図書の選定の方法ですが、まず図書館利用者からリクエストいただいております。こういう本を借りたいのだということで、それで当図書館にないものをリクエストいただいているわけですので、近隣の図書館または県立図書館から取り寄せたり、あるいはやっぱり人気があるものはそちらの図書館でも人気が沸騰でございますのでなかなか借りられない。そういうものは購入するとかいうことをしまして、大体9割以上のリクエストにおこたえしている現状です。あとそのほかの本については図書館の今の直営部分の職員の司書と、あと現在業務

委託していますが、業務委託しているところの司書が入って選定をして、こういう本だと皆さんにお借りしてもらえないかというふうな形態をとってできるだけ皆さんに借りていただくような本を選定しているところです。予算については、大変上げてもらってありがたいんですが、まだ十分だというふうな認識はありません。できるだけもっと予算をつけていただきたいんですが、全体的に大変な状況ですので、上げていただいただけでありがたいなと思っておりますが、さらに業績が上がれば図書購入費を予算つけていただければありがたいというふうに考えているところでございます。

○町田義昭委員長 ほかにご質疑ございませんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭委員長 ほかに質疑もないので、質疑を終結いたします。

議案第2号 平成21年度長井市国民健康保険特別会計予算についての質疑

○町田義昭委員長 次に、議案第2号 平成21年度長井市国民健康保険特別会計予算の1件について、質疑を行います。歳入歳出の全部についてであります。ご質疑ございませんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

議案第3号 平成21年度長井市公共下水道事業特別会計予算についての質疑

○町田義昭委員長 次に、議案第3号 平成21年度長井市公共下水道事業特別会計予算の1件について、質疑を行います。歳入歳出の全部についてであります。ご質疑ございませんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

議案第4号 平成21年度長井市老人保健医療費給付事業特別会計予算についての質疑

○町田義昭委員長 次に、議案第4号 平成21年度長井市老人保健医療費給付事業特別会計予算の1件について、質疑を行います。歳入歳出の全部についてであります。ご質疑ございませんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

議案第5号 平成21年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計予算についての質疑

○町田義昭委員長 次に、議案第5号 平成21年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計予算の1件について、質疑を行います。歳入歳出の全部についてであります。ご質疑ございませんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

+

議案第6号 平成21年度長井市農業集落排水事業特別会計予算についての質疑

○町田義昭委員長 次に、議案第6号 平成21年度長井市農業集落排水事業特別会計予算の1件について、質疑を行います。歳入歳出の全部についてであります。ご質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○町田義昭委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

議案第7号 平成21年度長井市訪問看護事業特別会計予算についての質疑

+ ○町田義昭委員長 次に、議案第7号 平成21年度長井市訪問看護事業特別会計予算の1件について、質疑を行います。歳入歳出の全部についてであります。ご質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○町田義昭委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

議案第8号 平成21年度長井市介護保険特別会計予算についての質疑

○町田義昭委員長 次に、議案第8号 平成21年度長井市介護保険特別会計予算の1件について、質疑を行います。歳入歳出の全部についてであります。ご質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○町田義昭委員長 質疑もないので、質疑を終結

いたします。

議案第9号 平成21年度長井市浄化槽事業特別会計予算についての質疑

○町田義昭委員長 次に、議案第9号 平成21年度長井市浄化槽事業特別会計予算の1件について、質疑を行います。歳入歳出の全部についてであります。ご質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○町田義昭委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

議案第10号 平成21年度長井市用地特別会計予算についての質疑

○町田義昭委員長 次に、議案第10号 平成21年度長井市用地特別会計予算の1件について、質疑を行います。歳入歳出の全部についてであります。ご質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○町田義昭委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

議案第11号 平成21年度長井市後期高齢者医療特別会計予算についての質疑

○町田義昭委員長 次に、議案第11号 平成21年度長井市後期高齢者医療特別会計予算の1件について、質疑を行います。歳入歳出の全部につ

いてであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

議案第12号 平成21年度長井市 水道事業会計予算についての質疑

○町田義昭委員長 次に、議案第12号 平成21年度長井市水道事業会計予算の1件について、質疑を行います。歳入歳出の全部についてであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

議案第48号 平成20年度長井市 一般会計補正予算第6号についての 質疑

○町田義昭委員長 次に、議案第48号 平成20年度長井市一般会計補正予算第6号の1件について、質疑を行います。歳入歳出の全部についてであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

議案第49号 平成21年度長井市 一般会計補正予算第1号についての 質疑

○町田義昭委員長 次に、議案第49号 平成21年度長井市一般会計補正予算第1号の1件について、質疑を行います。歳入歳出の全部についてであります。ご質疑ございませんか。

17番、蒲生吉夫委員。

○17番 蒲生吉夫委員 総括質疑の中で商工観光課長の方から我妻委員に答弁されてた中身がこの中にあるんですけども、プレミアム商品券のことについて、これで言うと6ページになるのかな。6ページの部分の緊急経済活性化推進事業のところではありますが、答弁の中では市報の中に引きかえするようなものを挟んでだとか答弁されていましたが、私はそんな厳しくしたら売れ残るんでないかというような心配してしまうんですけども、売れ残っても困る話だなということもありますし、私、同じ人が複数でそちこち回るなんていうのはほんの一部、多分あったんだと思います。一程度そういうところ抑止力を働かせるのであれば、買ったときに名前程度でいいから書いてもらえばいいんじゃないかなというふうに思うんですね。いずれ市外の方が買ってくれたって、使われるのは市内になるわけですから、そんなに厳しくする必要もないような気がするんですね。もともとそういう、これは複数買ったとしたって罰則規定もちろん設けてるわけじゃないし、規則的には1人5万円までとなってるわけだけでも、罰則設けてるわけでも何でもないので、そんなに厳しくしないで、名前を書いてもらってと、この方が私はずっと市民を信頼して、そういう扱いの方がいいような気がするんですけども、いかがでしょうか。

○町田義昭委員長 齋藤理喜夫商工観光課長。

○齋藤理喜夫商工観光課長 蒲生委員の方から、私がお話しさせていただいた中身よりは少しゆったりした方がいいのではないかなというふうなお話でございましたんですが、今の考え方といたしまして、さまざまな考え方、ご意見があると

+

いうふうなこと、その中で一定程度の方向性は示すべきだろうというふうな考え方から、商工会議所さんの方とお話をさせていただいて、市民に対して市報折り込みの購入申込書、そちらの方にはお名前等を書いていただいたものを出していただくというふうなことで、市外の方、それから複数かけてというふうなことを避けるような形にしたいというふうなことで考えたところでございます。ただ、この事業につきましては、蒲生委員おっしゃるように、消費者あるいは生活者、それから事業者の方がいい気持ちで事業に参加をしていただくというふうなことが一番大事なことなんだろうというふうに思います。多少枠組みとして厳しいというふうな可能性もあるかもしれませんが、一定程度の枠を考えさせていただいて、それを通して運動に参加をしていただくというふうなことでお互いにご理解をいただきたいものだというふうに考えてございます。

+ ○町田義昭委員長 ほかにご質問ございませんか。
8番、安部 隆委員。

○8番 安部 隆委員 補正予算第1号の21年度、7ページの委託料でありますけども、最上川地域観光交流推進事業となっておりますけども、これは具体的にどのような事業なのかお聞かせをいただきたいと思います。商工観光課長に。

○町田義昭委員長 商工観光課長でいいですか。
齋藤理喜夫商工観光課長。

○齋藤理喜夫商工観光課長 とりあえず私の方からお答えさせていただいて、不足する部分等がございましたならば、建設担当の……。

(「委員長、建設課長に」の声あり)

○町田義昭委員長 じゃあ、もとへでいいですか。
鈴木一則建設課長。

○鈴木一則建設課長 これは先ほど商工観光課長の方からご説明、予算総括でございました、ふるさと再生特別事業の建設課の部分で事業として委託をする内容でございまして、今現在、最

上川沿線の28の市町村、構成してます最上川流域の観光推進協議会というふうなものがございます。そちらの方の業務について、このたびのふるさと再生雇用の事業で業務を委託をしたいというふうな内容でございます。

○町田義昭委員長 8番、安部 隆委員。

○8番 安部 隆委員 ちょっと余り理解できませんので、詳しい資料を、後ででもいいですから……。

(「もらった」の声あり)

○8番 安部 隆委員 もらってる。じゃあもうちょっと具体的に中身を教えてください。

○町田義昭委員長 鈴木一則建設課長。

○鈴木一則建設課長 安部議員のご質問にお答えいたします。

今現在、最上川流域観光交流推進協議会というのがございまして、これが米沢から酒田までの、先ほど申し上げましたように、最上川をつなぐ沿線の各市町村で最上川を観光の題材としながらいろんな連携をとりましょうというふうなことで行っている協議会がございまして。こちらは会長が内容谷市長でございまして。このたびふるさと再生雇用の中で業務を委託したいという部分では、この業務については今現在、長井市の方で事務局という形を持ってるんですが、一般業務という中身の中で観光事業に対する振興というふうな部分がなかなか進まないということで、関係いたしますNPO団体とともにさらにPRとかさまざまなイベントの開発とか、そういうふうな形を推し進めようということで、この3年間の事業の中にNPOに委託をしながらこれを推進していこうということでこのたびこのふるさと再生雇用の中で取り上げていただいた事業でございまして。

なお、詳細といいますか、商工観光課の資料の中の一番最後の特別基金事業の中の観光事業の6というところがございまして、一番下の部分に、簡単でございまして、内容については

記入させていただいている事業でございます。

○町田義昭委員長 ほかにご質疑ございませんか。
(「なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭委員長 ほかに質疑もないので、質疑を終結いたします。

以上で各会計予算案に対する質疑は全部終了いたしました。

平成20年度及び平成20年度長井市各会計予算案の表決

これより各会計予算に対する討論、表決であります。ご意見のある方は本会議にてご発言いただくこととし、この際、討論を省略し、直ちに採決を行います。

まず、議案第1号 平成21年度長井市一般会計予算の1件について採決いたします。

本案に賛成の委員の起立を求めます。
(起立全員)

○町田義昭委員長 起立全員であります。よって、本案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第2号 平成21年度長井市国民健康保険特別会計予算の1件について採決いたします。

本案に賛成の委員の起立を求めます。
(起立全員)

○町田義昭委員長 起立全員であります。よって、本案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第3号 平成21年度長井市公共下水道事業特別会計予算の1件について採決いたします。

本案に賛成の委員の起立を求めます。
(起立全員)

○町田義昭委員長 起立全員であります。よって、

本案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第4号 平成21年度長井市老人保健医療費給付事業特別会計予算の1件について採決いたします。

本案に賛成の委員の起立を求めます。
(起立全員)

○町田義昭委員長 起立全員であります。よって、本案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第5号 平成21年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計予算の1件について採決いたします。

本案に賛成の委員の起立を求めます。
(起立全員)

○町田義昭委員長 起立全員であります。よって、本案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第6号 平成21年度長井市農業集落排水事業特別会計予算の1件について採決いたします。

本案に賛成の委員の起立を求めます。
(起立全員)

○町田義昭委員長 起立全員であります。よって、本案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第7号 平成21年度長井市訪問看護事業特別会計予算の1件について採決いたします。

本案に賛成の委員の起立を求めます。
(起立全員)

○町田義昭委員長 起立全員であります。よって、本案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第8号 平成21年度長井市介護保険特別会計予算の1件について採決いたします。

本案に賛成の委員の起立を求めます。
(起立全員)

○町田義昭委員長 起立全員であります。よって、本案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第9号 平成21年度長井市浄化槽事業特別会計予算の1件について採決いたします。

本案に賛成の委員の起立を求めます。

(起立全員)

○町田義昭委員長 起立全員であります。よって、本案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第10号 平成21年度長井市用地特別会計予算の1件について採決いたします。

本案に賛成の委員の起立を求めます。

(起立全員)

○町田義昭委員長 起立全員であります。よって、本案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第11号 平成21年度長井市後期高齢者医療特別会計予算の1件について採決いたします。

本案に賛成の委員の起立を求めます。

(起立全員)

○町田義昭委員長 起立全員であります。よって、本案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第12号 平成21年度長井市水道事業会計予算の1件について採決いたします。

本案に賛成の委員の起立を求めます。

(起立全員)

○町田義昭委員長 起立全員であります。よって、本案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第48号 平成20年度長井市一般会計補正予算第6号の1件について採決いたします。

本案に賛成の委員の起立を求めます。

(起立全員)

○町田義昭委員長 起立全員であります。よって、本案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第49号 平成21年度長井市一般会計補正予算第1号の1件について採決いたします。

本案に賛成の委員の起立を求めます。

(起立全員)

○町田義昭委員長 起立全員であります。よって、本案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で本予算特別委員会に付託になりました案件の審査は全部終了いたしました。

最後にお諮りいたします。本委員会において議決されました議案の中で、条項、字句、数字、その他、整理を要するものについては、会規則第102条の規定により、その整理を委員長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○町田義昭委員長 ご異議なしと認めます。よって、整理を要するものについては、その整理を委員長に一任することに決定いたしました。

なお、来る25日の本会議における本委員会審査報告の文案につきましても、私に一任くださるようお願いいたします。

閉 会

○町田義昭委員長 予算特別委員会はこれをもって閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

午後 2時07分 閉会

会議録署名

委員長 町田 義昭

+